

平成21年度 事業報告書

福井市固有の歴史的環境の整備と管理及び関連する文化財等の保全ならびに歴史的文化活動の振興を図り、福井市における住民生活の充実と豊かで潤いのある個性的なまちづくりに寄与するため、平成21年度は次の事業を実施し、歴史のみえるまちづくりの推進に努めた。

【公益事業】（補助事業等）

1. 歴史的環境整備促進事業

（1）歴史的石碑設置

① 「旧木町」石碑設置

慶長年間の御城下四ツ割図においてすでに確認されている、江戸期～明治7年の町名で、足羽川の水運を利用して木材を運搬する材木問屋が多く住んでいたことに由来すると考えられている「旧木町」の石碑を地元自治会（照手地区）の要望により設置。「福井城下眺望図（部分）」と解説文を表示した。

設置場所	福井市照手1丁目地係り（歩道）
仕 様	【本 体】 大きさ：W700mm×H900mm×D250mm 材 質：錆ミカゲ石・切削仕上げ
	【解説板】 大きさ：W350mm×H500mm 材 質：ステンレスホーロー焼付け
	【町名表示】 大きさ：W150mm×H480mm 材 質：ステンレスホーロー焼付け

② 「旧天王町」石碑設置

江戸期～明治7年の町名で、この地に牛頭天王社があったことに由来している。牛頭天王社は、疫病を防ぐ神として信仰を集め、結城秀康の築城の際に、城の鬼門にあたるこの地（現簸川神社）に移された。これに由来する「旧天王町」の石碑を地元自治会（宝永地区）の要望により設置。「福居御城下絵図」「福井藩十二月年中行事絵巻」と解説文を表示した。

設置場所	福井市宝永2丁目地係り（歩道）
仕 様	【本 体】 大きさ：W700mm×H900mm×D250mm 材 質：錆ミカゲ石・切削仕上げ
	【解説板】 大きさ：W350mm×H500mm 材 質：ステンレスホーロー焼付け
	【町名表示】 大きさ：W150mm×H480mm 材 質：ステンレスホーロー焼付け

③ 「橘曙覧三女健子の墓」解説板・表示柱の設置

昭和58年に福井県短歌人連盟によって、解説版・表示柱が設置されたが、26年を経過し、表示柱は折れ、解説版の文字は判読できない状態で放置されていた。

福井市橘曙覧記念文学館や近隣の飲食店へ、墓の所在を問い合わせる来訪者もあり、また、平成22年4月には、文学館が開館10周年を迎えることから、解説板等を設置した。

設置場所	福井市足羽1丁目8-97 (妙観寺)
仕 様	【解説板】 大きさ：W900mm×H600mm 材 質：アルミ複合板
	【表示柱】 大きさ：W100mm×D100mm×H1800 材 質：木製

④ 「日出御門」石碑の一時撤去及び復旧

北陸農政局福井農政事務所敷地内に設置している「日出御門」石碑を、同事務所の耐震改修工事に伴い、一時撤去・保管し、工事終了後、復旧した。

設置場所	福井市日之出3丁目14-15
------	----------------

⑤ 「富田盛源道場跡地」石碑付属の木製解説板修繕

平成14年度に設置した、木製解説板が、劣化により文字の判読ができない状態となっていたため、地元自治会等の要望により修繕した。

設置場所	福井市西新町地係り
------	-----------

2. 歴史的文化活動振興事業

(1) 伝統行事支援

市内で継承されている伝統行事（文化財の指定を受けていないもの）の伝承事業を支援することによって、行事の継承と歴史のみえるまちづくり事業の一層の進展を図るため助成金を交付する。

募集期間	4月10日～5月31日
申請団体	なし

3. 普及啓発事業

(1) 歴史人材バンク「語り部」の育成

福井市歴史ボランティアグループ「語り部」に助成金を交付するとともに、活動に関わる事務処理広報等の支援をした。

会員数 : 63人 (平成22年3月31日現在)

ガイド実績 : 150件 (3,684人)

講演件数 : 61件 (1,650人)

主催行事 : 「語り部」と歩く歴史探訪の実施 (参加人数 延べ197名)

第1回 麻生津地区 第2回 橋南地区 第3回 和田地区

第4回 旭地区 第5回 一乗谷朝倉氏遺跡

自主研修 : 現地研修会 (1回) 座学研修会 (3回) 県外研修 (1回)

その他研修 : 県観光ボランティア協議会主催県内・県外研修 (各2回)

観光ボランティア全国大会 (1回)

福井坂井広域観光圏ガイドセミナー (3回) 他

語り部だより : 1,000部発行

(2) 歴史パンフレットの発行

① 「わたしが橘曙覧です」発行

福井市橘曙覧記念文学館に、校外学習等で来館する小中学生への配布、また、平成22年4月に開館10周年を迎える同館の、学校等への広報にも活用するため、子ども向けのパンフレットを作成した。

部数 : 20,000部

配布先 : 嶺北地区の全小中学校、福井市立郷土歴史博物館、福井県立こども歴史文化館、その他希望の方、来館者に随時配布。

② なるほど歴史カード「橘曙覧」発行

福井ゆかりの歴史人物を紹介するため、写真やゆかりの地の地図、説明文などを掲載したカードを作成している。今年度は、平成22年4月に福井市橘曙覧記念文学館が開館10周年を迎えることから「橘曙覧」のカードを作成した。

部数 : 20,000部

配布先 : 観光案内所、公共施設、店舗、その他希望の方に随時配布

(3) 協会ホームページの更新

事業広報、予算・決算の情報公開等のため、年5回更新した。

(4) 協会会報の発行

協会の活動を市民に知らせ、歴史のみえるまちづくり事業への理解を深めるため、会報を発行した。

発行部数：12,000部

配布先：町内回覧(7,562部)・公共施設他

【収益事業】(受託事業)

1. 歴史的環境保全事業

(1) 歴史的建造物の調査

平成9年度から平成14年度にかけて調査した旧福井市域の歴史的建造物調査に併せ、合併後未調査のまま残っていた美山・清水の二地区に残存する歴史的建造物の調査を行った。

実施方法：歴史的建造物の研究を行っている福井工業大学吉田純一氏に依頼し実施。

対象物件：美山・清水地区内に残る神社・寺院・民家などの中から、歴史的に価値の高い建造物を調査対象とした。

2. 歴史的文化活動振興事業

(1) 子ども歴史クラブ育成

子供たちに郷土の歴史についての興味や関心を深める機会を提供し、郷土への愛情を育くむとともに、歴史を学ぶ楽しさを知ってもらうための歴史体験学習を実施した。

会員数 18校 46人(男子 28人 女子 18人)

第1回活動

「昔のくらしや遊び体験」

日時：6月13日(土)・14(日) 10:00～15:00

場所：おさごえ民家園

参加者：38名

内容：民家や民具を見学しながら昔の暮らしの様子を学んだり、民家の竈を使って実際に炊飯をしておにぎり作りを行った。また手遊びやこま回しなどの昔の遊びをとおして、歴史や文化への理解を深めた。

第2回活動

「発掘調査体験」

日 時：8月19日（水）①9：30～12：00 ②14：30～16：30

場 所：福井城跡調査地（仁愛女子高校南側）

参加者：38名

内 容：現場担当学芸員の指導のもと、実際に使われる道具を使用して発掘調査を体験。出土物や当時の人々の生活についての説明を受け、また、発掘を終了した遺構の見学も行い、当時の人々の生活への理解を深めた。

第3回活動

「史跡散策会」

日 時：10月18日（日）9：00～15：30

コース：藁屋跡→大安禅寺→水切古墳群→鷹巣荘（「仏の舞」ビデオ鑑賞・昼食）→糸崎寺→免鳥長山古墳

参加者：23名

内 容：水切古墳・免鳥長山古墳など、普段訪れることがない郊外の史跡を訪ね、福井の歴史の奥深さに触れることのできる活動とした。

第4回活動

「古代のものづくり～勾玉を作ろう～」

日 時：11月28日（土）10：00～12：00

場 所：福井市立郷土歴史博物館講堂

参加者：30名

内 容：古代の装身具「勾玉」を、郷土歴史博物館学芸員の指導のもと、彫刻等に使用される滑石を削って作製した。

第5回活動

「県立こども歴史文化館を探検しよう」

日 時：1月31日（日）13：00～15：30

場 所：福井県立こども歴史文化館

参加者：32人

内 容：平成21年11月に開館したこども歴史文化館で、クイズを解きながら館内を見学、終了後、館学芸員の説明を受けながら答え合わせを行った。

修了式・入会式

日 時：3月20日（日）①10：00～12：00 ②13：00～15：00

場 所：フェニックス・プラザ地下大会議室

①平成21年度修了式

参加者：29名

内 容：修了記念品及び皆勤賞の授与

②平成22年度入会式

新会員：83名（男子38名 女子45名）

参加者：69名

内 容：仮会員証・記念品の授与、22年度の活動説明

(2) 歴史講座開催

幕末の福井藩士 由利公正の生誕180年と、幕末の医師 笠原白翁の生誕200年を記念して歴史講座を開催した。

第1回講座「由利公正と福井藩」

日 時：平成21年12月5日（土）13:30～15:30

会 場：フェニックス・プラザ 小ホール

講 師：吉田 健（福井県文書館）

内 容：藩主松平春嶽、政治顧問横井小楠、坂本龍馬らの関係資料をもとに、赤字の藩財政を立て直し、維新後には政府の財政担当も務めた由利公正の人物像を検証した。

参加者：210名

第2回講座「笠原白翁と幕末の福井藩」

日 時：平成21年12月19日（土）13:30～15:30

会 場：フェニックス・プラザ 小ホール

講 師： 基調講演 白崎昭一郎（歴史家・文筆家）

鼎 談 白崎昭一郎（歴史家・文筆家）

舟澤茂樹（歴史研究者）

本川幹男（歴史研究者）

内 容：基調講演では、笠原白翁以前の杉田玄白らを中心とした蘭医学のおこりから流行、天然痘と笠原白翁の種痘活動についての話があり、後半の鼎談では、幕末の福井藩における西洋医学の動向、笠原白翁の種痘普及について検証した。

参加者：122名

講演録：500部作成

(3) 愛宕坂にぎわい事業関連業務

福井市が実施する「愛宕坂灯の回廊」期間中、福井市愛宕坂茶道美術館ならびに福井市橘曙覧記念文学館において、関連業務を実施した。

「第9回 愛宕坂灯の回廊」

期 間：平成21年4月1日（水）～12日（日）

① 夜間開館等受付・管理業務

開館時間 9：00～21：00

② 抹茶サービス（有料）

日 時：4月1日（水）～12日（日）10:00～16:00（金土日は20:00）

人 数：687 人

③ 愛宕坂桜音楽会2009

日 時：4月11日（土）15:00～15:30 17:30～18:00

場 所：福井市橘曙覧記念文学館庭園・1階ロビー

出 演：摩訶不思議 二 胡：小林寛明 キーボード：ジミあわたべ

参加数：160名（2回計） 当日受付

「愛宕坂灯の回廊—秋—」

期 間：平成21年9月25日（金）～27日（日）

① 夜間開館等受付・管理業務

開館時間：9：00～21：00（入館は閉館の30分前まで）

② 抹茶サービス（有料）

日 時：9月25日（金）～27日（日）10:00～20:00

人 数：117 人

③ 関連展示「明治のともしび展」

日 時：9月25日（金）～27日（日）9:00～21:00（25日は17:00～）

内 容：芳澤孝造氏（越前市在住）が所蔵している明治時代のランプの展示
観覧者：215人

④ コンサート開催「秋月の響」

日 時：9月26日（土） 18:00～19:20

場 所：青松園

出 演：尺八デュオ“黒船”

尺八：ジョシュ・スミス 尺八・シヤザザ：泉川秀文
参加数：50名 事前申込み・抽選（応募数117名）

3. 普及啓発事業

(1) 歴史観光ボランティア人材育成事業（ふるさと雇用再生特別基金事業：職員1名採用）
歴史観光ボランティア認定のための講習会を実施した。

①歴史ボランティアグループ「語り部」現会員対象講習会

日 時：平成22年1月24日（日）14:00～16:00

場 所：福井市立郷土歴史博物館

内 容：学芸員によるギャラリートーク、講演会

参加者：25名

②新規会員講習会

募 集：市政広報1月1日号に掲載（応募：16名）

講習会：講演（2回）平成22年2月7日（日）28日（日）

講演及び現地研修（1回）平成22年3月7日（日）

講 師：語り部会員

参加者：3回のべ 48名

修了証：全3回参加者に授与（11名）

認 定：修了後、1年間の研修を経て認定する

4. 愛宕坂茶道美術館の管理運営

(1) 展示に関すること

企画展

「千代女と蓮月」

期 間：平成21年4月15日（水）～7月3日（金）

概 要：京都の歌人大田垣蓮月と加賀の俳人千代女を取り上げ、数奇な運命をたどった二人の人生をたどりながら彼女らの掛軸や茶道具などを展示し、女性ならではの柔らかな歌の世界を紹介した。

展示品：「溪斎英泉版画 加賀の千代像」「蓮月急須自画賛」ほか計19点

観覧者数：1,301人

「華やかなうつわ」

期 間：平成 21 年 7 月 11 日（土）～9 月 9 日（水）

概 要：中国の呉須赤絵や南京赤絵など、鮮やかな赤の文様の器を中心に華やかな
絵付けの陶磁器を展示した。

展示品：「五彩魚藻文水指」「呉須赤絵赤玉香合」ほか 計 23 点

観覧者数：645 人

「茶人と茶杓」

期 間：平成 21 年 9 月 12 日（土）～11 月 18 日（木）

概 要：室町時代から江戸時代にかけて歴史の名を残した茶人や武将たちの作った
茶杓をテーマにさまざまな趣向に富んだ茶杓を展示した。

展示品：「武野紹鷗作 茶杓 替筒 片桐石州 平瀬家伝来」

「珠徳作象牙茶杓」ほか 計 18 点

観覧者数：1,701 人

関連行事：ギャラリートーク 10 月 4 日（日）①10:00～ ②14:00～
開館 10 周年記念イベント開催日

「いにしえびとの恋の歌」

期 間：平成 21 年 11 月 21 日（土）～平成 22 年 3 月 3 日（水）

概 要：平安時代から江戸時代にかけて、公家や商人、僧侶などが書いた百人一
首をはじめとする恋の歌が書かれた掛軸を展示した。

展示品：「伝西行法師筆 和歌色紙」「近衛信尹筆百人一首切」ほか 計 18 点

観覧者数：599 人

特別展

「香りの道具展」

期 間：平成 22 年 3 月 7 日（日）～4 月 18 日（日）

概 要：茶道ともゆかりの深い「香道」の世界を、香りにまつわるさまざまな香
道具や美術品を展示して紹介した。

展示品：「三種香盤物（競馬香・名物香・矢数香）」

「時代蒔絵笈形重香合」ほか 19 点

観覧者数：347 人（3 月 7 日～3 月 31 日）

総観覧者数：5,986 人

※内 4 月 1 日～4 月 12 日の前年度特別展「茶箱のたのしみ」観覧者数 1,393 人を含む

(2) イベント・講座に関すること

開館10周年記念イベント

日 時：平成21年10月4日（日）9：00～17：00

場 所：福井市愛宕坂茶道美術館ロビー・展示室

内 容：入館料無料 288名 呈茶無料 288名

企画展「茶人と茶杓」ギャラリートーク

①11：00～②14：00～ 70名

茶道具セットプレゼント（抽選で2名） 135名

体験講座

「親子でたのしむ茶道体験講座」

日 時：平成21年5月30日（土）①10：00～ ②13：30～ ③14：30～

場 所：福井市愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」

内 容：つくばいで手を清め、にじり口より茶室に入り、お菓子をいただくまでの作法を親子で体験した。抹茶を自分で点てることも体験した。

参加者：児童15名 保護者11名

「おとなのための茶道体験講座」

日 時：平成21年6月7日（日）、6月28日（日）

会 場：愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」

内 容：茶道に興味を持つ初心者の方を対象に、大人のための茶道体験講座を行なった。初回は「お客編」としてお菓子やお抹茶のいただき方を、今回は「おもてなし編」としてお辞儀の仕方や襖の開け閉めなどを学んだ。

講 師：田村宗寿氏（シルバー人材センター）

参加者：33名

「ビーズの帯飾りづくり」

日 時：平成21年8月2日（日）

①10：00～12：00 ②14：00～16：00 各120分

会 場：愛宕坂茶道美術館 4階会議室

内 容：和装小物の一つである帯飾りをビーズで作る講座を行った。

講 師：慶本純希氏（ビーズアクセサリー講師）

参加者：25名

「初香とお茶をたのしむ」

日 時：平成22年1月24日（日）

①10：00～11：00 ②11：20～12：20

③13:30～14:30 ④14:40～15:40

会 場：愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」

内 容：天然の香木を焚き五感を使って香りを判定する「聞香」の講座を行った。お正月にちなみ三種類の香を聞く「松竹梅香」を行った。

講 師：岩城君代氏（志野流福井支部）

参加者：32名（申込み数93名・抽選）

イベント

「愛宕坂をゆかたで歩こう」

日 時：平成21年8月1日（土）～3日（月）

概 要：福井フェニックス祭りの開催にあわせ、和装で来館された方は無料とした。ロビーにて3日間呈茶サービスを行なった。また、3日夜は玄関前にて「流しそうめん」を行った。

和装による無料入館者数：17名

イベント・講座 総参加者数：121名

（3）茶室および研修会議室の貸出について

茶 室：31件（減免15件・使用者数979名）

研修会議室：86件（減免23件・使用者数1,338名）

総利用者数：2,317名

総入館者数：8,303名

（4）抹茶サービスについて

利用者数 2,165名（内、「愛宕坂灯の回廊」期間 804名）

（内、小中学校体験 10校 150名）

5. 橘曙覧記念文学館の管理運営

（1）展示に関すること

テーマ展

「鳥のうた1」

期 間：平成21年4月22日（水）～9月29日（火）

概 要：曙覧がよんだ鳥の歌を、鳥の写真とともに展示した。また、古典の中の鳥、近代歌人、福井ゆかりの作家たちと鳥についても紹介した。

写真協力：柳町邦光氏（日本野鳥の会福井支部）

展示品：橘曙覧筆和歌幅「鷹狩」、伊藤柏翠筆短冊「鶯」ほか 計24点
観覧者数：2,045人

「鳥のうた2」

期 間：平成21年11月14日（土）～平成22年3月16日（火）

概 要：前回の内容に引き続き曙覧の鳥の歌を写真とともに紹介した。また、近代歌人たちの鳥の歌についても取り上げた。

写真協力：柳町邦光氏（日本野鳥の会福井支部）

展示品：橘曙覧筆和歌屏風ほか 計9点

観覧者数：758人

特別展

秋季「絵×俳句～目で見て楽しむ俳句の世界～」

期 間：平成21年10月3日（土）～11月11日（水）

会 場：橘曙覧記念文学館 2階第1展示室、第2展示室（一部）

概 要：俳諧のはじまりから江戸時代の俳諧について俳画を通して紹介を行った。また、橘曙覧と俳諧の関係や近現代の俳人たちの書や俳画を展示した。あわせて現代の俳句事情として写真俳句を紹介し、作家・森村誠一氏の作品をパネル展示した。

展示品：野坡筆「オランダ帽」自画賛（財団法人柿衛文庫蔵）、士朗筆芭蕉肖像画（夢望庵文庫蔵）、森村誠一写真俳句パネル ほか 計47点

観覧者数：837人

関連講座「写真俳句をはじめませんか」

日 時：平成21年10月24日（土） 13:30～16:30

講 師：中村廣幸氏（「写真俳句ブログ」主宰、横浜市在住）

内 容：写真俳句に取り組む森村誠一氏の作品の展示を行っていることから、初心者向けの写真俳句講座を開催した。写真俳句の作り方、創作のコツなどについて教えていただいた。

場 所：愛宕坂茶道美術館 4階会議室

受講者：17人

春季「作家の書斎～愛用品から知る7人の素顔～」

期 間：平成22年3月20日（土）～4月25日（日）

会 場：橘曙覧記念文学館 2階第1展示室

概 要：橘曙覧も文具や身近な物にはこだわりをもっていたことから、福井ゆかりの作家たち7人（橘曙覧、松平春嶽、山川登美子、室生犀星、中野重治、深田久弥、則武三雄）の書斎にあった文具をはじめ愛用した品々に注目し展示を行った。あわせて愛用品に関するエッセイ、福井ゆかりの事柄を紹介した。

展示品：山川登美子所持の裁縫箱（山川登美子記念館）、室生犀星愛用文箱（財団法人石川近代文学館）ほか 計54点
観覧者数：136人（平成22年3月31日まで）

開館10周年企画「こだわりの文具プレゼント」

実施期間：春季特別展会期中

内 容：来館された方に橋曙覧クイズ（5問）に挑戦していただき、正解された方の中から30名に文具をプレゼントした。

総観覧者数：4,934人

※内、平成20年度事業春季特別展「地雷のあしあと～ホースニア・ヘルツェゴ・ビナの子どもたちの叫び～」4月1日～21日の間の観覧者数1,158人を含む

（2）イベント・講座の開催

体験講座

「ポジャギでブックカバー作り」

日 時：平成21年6月20日（土）①10:00～12:00 ②14:00～16:00

会 場：愛宕坂茶道美術館 4階会議室

講 師：金井雅子氏（ポジャギ講師）

概 要：韓国の伝統工芸品ポジャギでブックカバーを作成する講座を行った。

参加者：30人

短歌講座

「たのしい短歌入門」全3回

日 時：平成21年6月27日（土）、7月18日（土）、8月8日（土）

13:30～15:30

会 場：愛宕坂茶道美術館 4階会議室

講 師：市村善郎氏（福井県短歌人連盟委員長）

概 要：短歌初心者を対象とした入門講座を開催。短歌とは何かについて講義の後、現代の短歌鑑賞、実作指導などを行った。

受講者：のべ62人

文学講座

「日本文学史上における曙覧の位置」

日 時：平成21年11月15日（日）、29日（日）13:30～15:00

会 場：愛宕坂茶道美術館 4階会議室

講 師：東出市二郎氏（福井実践国語の会顧問）

概 要：第1回は曙覧が残した著作物をもとに国学を学んだ曙覧について。

第2回は万葉調といわれる曙覧の歌についての考察、正岡子規、斎藤茂吉の曙覧論評などについて。

受講者：のべ33人

朗読会

「冬の朗読会～チェロの音色とともに温かなひとときを～」

日時：平成21年12月20日（日） 13：30～15：00

会場：橘曙覧記念文学館 1階ロビー

朗読作品：『ほたるになった天使』（かんのゆうこ著、講談社、2005年）

『セロ弾きのゴーシュ』（宮澤賢治著、パロル舎、1986年）

出演：[朗読]堀 謙氏（FM福井アナウンサー）

[演奏]福野桂子氏（チェロ奏者）

概要：文学作品に親しんでいただくことを目的とした、大人のための朗読会。

作品朗読の間にチェロの演奏をはさみ、朗読と音楽を楽しむ内容とした。

参加者：39人（電話受付先着順）

イベント

「愛宕坂をゆかたで歩こう」

日時：平成21年8月1日（土）～3日（月）

概要：フェニックス祭りにあわせて、浴衣（和装等）で来館された方は入館無料とした。3日は館前の愛宕坂で流しそうめんを行い、無料でふるまった。また、花火大会開催にあわせて夜間開館し、庭園を花火観賞の場とした。

和装で来館された方先着15人に「あさがおタオル」をプレゼントした。

参加者：55人（花火観賞者）

イベント・講座参加者数：219人（のべ人数）

(3) 研修室貸出について

件数： 7件 利用者数： 67人

総利用者数：5,001人

※講座参加者数をのぞく

(4) 橘曙覧史跡めぐりについて

「お伊勢参りの足跡をたどって今庄宿まで」

日時：平成21年11月7日（土） 8：30～16：30

講師：河合清士氏（元福井市橘曙覧記念文学館館長）

コース：福井市橘曙覧記念文学館→妙観寺→生家跡（車中）→藁屋跡→丹巖洞→下荒井・茶屋石碑→鯖江市・神明神社（車中）→越前市・天保救荒碑ほか→吉野瀬川→越前市武生公会堂記念館→伊藤家（近江屋薬局）、山本家（車中）→かめや（昼食）→南越前町・妙泰寺→今庄宿、京藤家他→福井市橘曙覧記念文学館

参加者：20名（応募者 80名・抽選）

（5）第15回平成独楽吟実施

募集期間：平成21年10月1日～平成21年12月31日

募集内容：①平成独楽吟部門

「たのしみは…」ではじまり「…とき」で終わる短歌

*歌にあわせた絵付はがきの募集を実施（同部門のみ）

②一般短歌部門 自由詠の短歌

募集方法：市政広報掲載・ポスター、チラシ配布・NHKによるラジオ放送・福井新聞掲載・公募雑誌掲載（携帯電話での受付有）・インターネット他

賞及び副賞（各部門）：

橘曙覧賞 1首（賞状・副賞5万円）

福井県知事賞・福井市長賞・福井県教育委員会賞

福井市教育委員会賞・福井新聞社賞 各1首（賞状・副賞2万円）

NHK福井放送局長賞・福井中央郵便局長賞

各1首（賞状・副賞2万円相当）

（財）歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

1首（賞状・副賞2万円）

熊本市賞（平成独楽吟部門のみ）

1首（賞状・特産品1万円相当）

学校賞（平成独楽吟部門のみ）1校（賞状・図書カード 5千円）

秀作 平成独楽吟部門 20首 一般短歌部門 21首

募集結果：①平成独楽吟部門

応募総数：4,323首

内訳：はがき 3,887首 インターネット 270首 携帯 166首

②一般短歌部門

応募総数：872首

内訳：はがき 734首 インターネット 86首 携帯 52首

審査結果：

①平成独楽吟部門

審査員長：定道明（詩人・作家）

審査員：佐孝石画（俳人）足立尚計（歌人）橋谷桂子（童話作家）

審査会：日時 2月13日（土）13：30～

場所 福井市愛宕坂茶道美術館4階会議室

内容 4名の審査員ごとに事前に選出した作品の中から橘曙覧賞、他入賞作品、学校賞、秀作を決定。

②一般短歌部門

審査員長：福島泰樹（歌人）

審査員：市村善郎（歌人）喜多昭夫（歌人）足立尚計（歌人）

審査会：日時 2月6日（土）9：00～

場所 福井市愛宕坂茶道美術館 4階会議室

内容 審査員長を除く3名の審査員ごとに事前に選出した作品の中から、入賞、秀作候補作を決定。橘曙覧賞他入賞各賞、秀作の決定は、後日審査員長により行った。

表彰式

日時：平成22年3月14日（日）13：30～15：00

場所：福井市橘曙覧記念文学館 1階ホール

内容：入賞者、秀作受賞者の表彰及び各部門審査員長による総評

作品展示

場所：福井市橘曙覧記念文学館 2階

内容：各部門の入賞作品及び秀作をパネル展示。また、絵付はがきの一部を展示。（絵付きはがきは 5月5日（水）まで）

作品集

内容：各部門の入賞・秀作の作品、総評を掲載

部数：1,000部

5. 会議開催

（1）理事会

第1回 平成21年5月28日（木）

評議員の選出について

常務理事の選任について

平成20年度事業報告・収支決算について

第2回 平成21年12月25日(金)
評議員の選出について
歴史観光ボランティア人材育成事業について
公益財団法人への移行計画について

第3回 平成22年3月29日(月)
任期満了に伴う評議員の選出について
平成22年度事業計画(案)について
平成22年度収支予算(案)について

(2) 評議員会

第1回 平成21年5月28日(木)
理事の選任について
平成20年度事業報告・収支決算について

第2回 平成21年12月25日(金)
理事の選任について
歴史観光ボランティア人材育成事業について
公益財団法人への移行計画について

第3回 平成22年3月29日(月)
任期満了に伴う理事・監事の選任について
平成22年度事業計画(案)について
平成22年度収支予算(案)について

(3) 評議員会専門部会

普及啓発部会 平成21年6月22日(月)
歴史講座の開催について
歴史パンフレット・カードの作成について

振興部会 平成21年6月24日(水)
歴史ボランティアグループ「語り部」について
子ども歴史クラブの活動実施について
伝統行事への支援について

企画運営部会 平成21年6月26日(金)
第15回平成独楽吟募集事業について
福井市愛宕坂茶道美術館・福井市橘曙覧記念文学館の
管理運営について

整備促進部会 平成21年6月26日(金)
旧町名石碑の設置について